

第2日 1月25日(土) 午後の部

(15) 国語部会 (中・高)	部会テーマ	教科の専門性を磨いて、新たな学びへと進化を目指す
内 容	これからの社会を生き抜く子どもたちには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく力が必要である。学習指導要領の改訂に込められたこの願いを実現するため、新学習指導要領のポイントや、授業実践例などを共有しながら、教科の専門性を磨き、授業の創意工夫や改善を考える。	
司 会 者	総合教育センター 高橋 徹	
記 録 係	総合教育センター 武井 玲子	企画・会場係 総合教育センター 塩野 友佳

実践発表 1

「思考力・判断力・表現力」を育む指導の工夫

～文学作品を読む観点と対話を意識した授業実践～

県立佐野高等学校附属中学校 石塚 弘幸

「故郷」を扱った授業実践を報告する。「描写、視点、時制」などの文学作品を読む「観点」をもとに作品を分析し、対話的な批評活動を通して論理的思考力を高める授業を試みた。また、実際の授業で用いたワールドカフェ方式等の実践も併せて紹介する。

実践発表 2

「教科指導体制研究」の成果について

県立茂木高等学校 木村 美綺
県教委事務局高校教育課 柴崎 宏庸
総合教育センター研修部 塩野 友佳

平成30年度から2年間、「教科指導体制研究」の指定を受け、新学習指導要領の実施に向けて、教科内で統一された指導体制を整え、研究に取り組んだ。本発表では、その内容と成果、課題について報告する。

研究協議

授業改善の実践における課題とその解決に向けて

全体協議

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」

～教科間の連携を図る～